

# ログミーIR Meet 会社説明資料

2026年3月8日

株式会社アイキューブドシステムズ

東証グロース：4495

# 会社概要

会社名	株式会社アイキューブドシステムズ
所在地	福岡本社：福岡県福岡市中央区天神4-1-37 第1明星ビル 東京本社：東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル 営業拠点：札幌市／仙台市／名古屋市／大阪市／広島市
資本金	416,964,100円
設立	2001年9月
代表者	代表取締役執行役員社長 CEO 佐々木 勉
主な事業内容	CLOMO事業／投資事業
パートナー	Apple Consultants Network Member Android Enterprise Gold Partner Microsoft AI Cloud Partner
グループ会社	株式会社アイキューブドベンチャーズ ワンビ株式会社 10KN COMPANY LIMITED (ベトナム)

※2025年12月末時点の情報を掲載しております。

# MDMが注目されている背景

DXやペーパーレス化の促進に伴い、多様な業種にてモバイル端末のビジネス利用が拡大一方で、モバイル端末の紛失や盗難等に起因するリスクへの対応ニーズが増加

## モバイル端末の利用シーン（一部）

### ● スマートフォン

従業員への貸与端末（業務上の携帯電話）

医療機関における内線ツール

### ● タブレット

教育現場における児童への貸与端末

接客業の店舗における予約・在庫管理や決済用端末

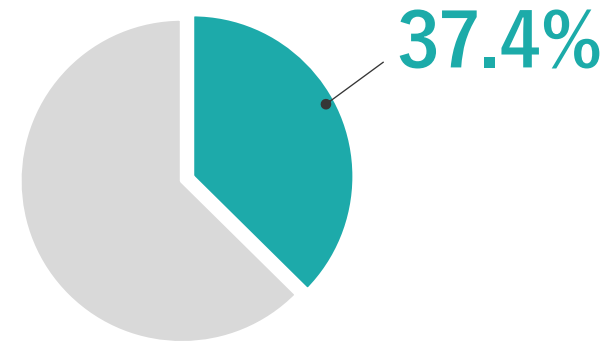
### ● 業務専用端末

運送業における配達員の配送管理用端末

製造業における図面確認、連絡用端末

## モバイル端末管理（MDM）の必要性

「従業員によるデータ、情報機器の紛失・盗難」  
を3社に1社以上が経験



企業が過去1年間に経験したセキュリティインシデントで最も多かったのは「従業員によるデータ、情報機器の紛失・盗難」で、37.4%

# 国内MDM市場15年連続シェアNo.1の達成

OEMを通じた新規顧客の獲得と平行して、自社ブランドであるCLOMO MDMも着実にシェアを拡大  
国内MDM市場(自社ブランド)において、15年連続のシェアNo.1<sup>(1)</sup>を達成



注：

1.出典: デロイト トーマツ ミック経済研究所「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望(<https://mic-r.co.jp/mr/00755/>)」2011～2013年度出荷金額、「MDM自社ブランド市場(ミックITレポート12月号: <https://mic-r.co.jp/micit/2025/>)」2014～2024年度出荷金額・2025年度出荷金額予測

# 政府に認められたセキュリティ品質

CLOMOの高いセキュリティ品質が認められ、2024年にISMAPクラウドサービスリストに登録  
競合サービスのISMAP登録実績は少なく<sup>(1)</sup>、MDM市場における競争優位性向上に貢献



政府情報システムのためのセキュリティ評価制度  
(Information system Security Management and Assessment Program)

## ISMAP登録によるサービス競争力の向上

- ISMAPとは

政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを予め評価・登録することにより、政府のクラウドサービス調達におけるセキュリティ水準の確保を図り、円滑に導入できることを目的とした制度

- 官公庁市場の開拓

ISMAPへの登録によってCLOMO MDMの信頼性や安全性が向上し、行政機関を含む多くの顧客にとって導入しやすくなることで、今後の顧客基盤拡大への貢献が見込まれる

注：

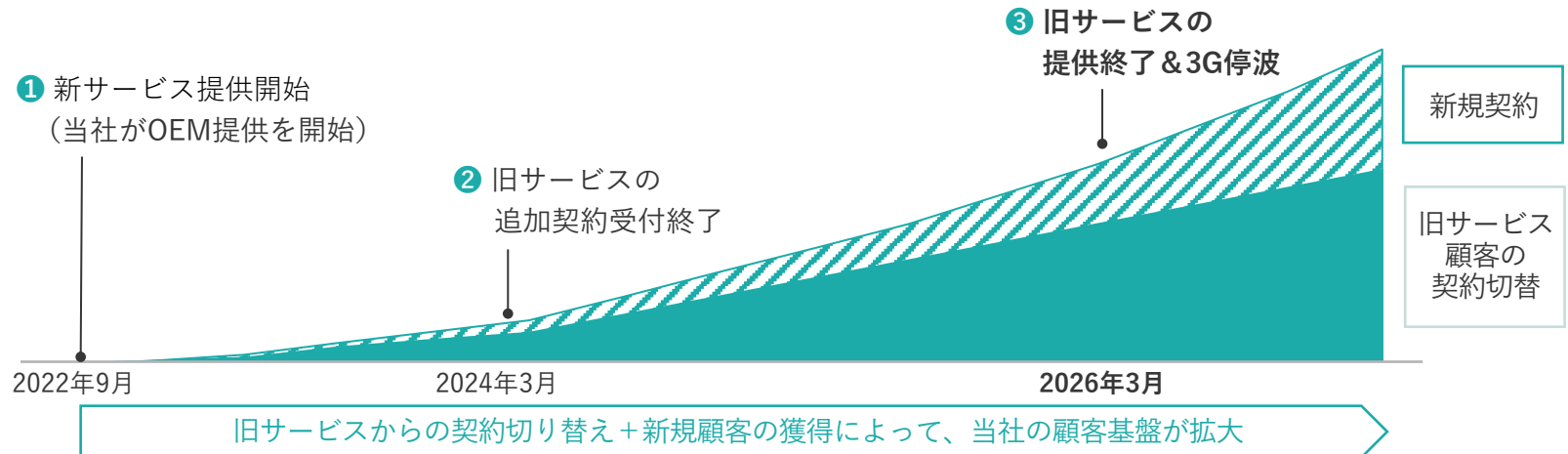
1. CLOMO以外に2つのMDMサービスがISMAPに登録されています。なお、2025年6月末時点の当社調査によるものです。

# OEM提供を通じた顧客拡大

OEM提供開始後、CLOMO事業の導入法人数は増加ペースが加速し、9,000社を突破  
3G停波<sup>(1)</sup>に伴う需要の高まりも見込んでおり、2026年6月期は顧客基盤がさらに拡大する見通し

## 顧客の増加イメージ

- 1 NTTドコモグループが提供するMDMサービス（以下、旧サービス）のリニューアルに伴い、「あんしんマネージャーNEXT」（以下、新サービス）へ、当社がOEM提供を開始
- 2 旧サービスの追加契約受付終了により、新サービスへの移行が進み、導入法人数の成長ペースが加速
- 3 2026年3月に旧サービスの提供終了が予定されており、2026年6月期はさらなる導入法人数の増加が見込まれる  
また、3G停波に伴い、従来型携帯電話からスマートフォンへ切り替える企業に対するサービス導入機会の増加が期待される



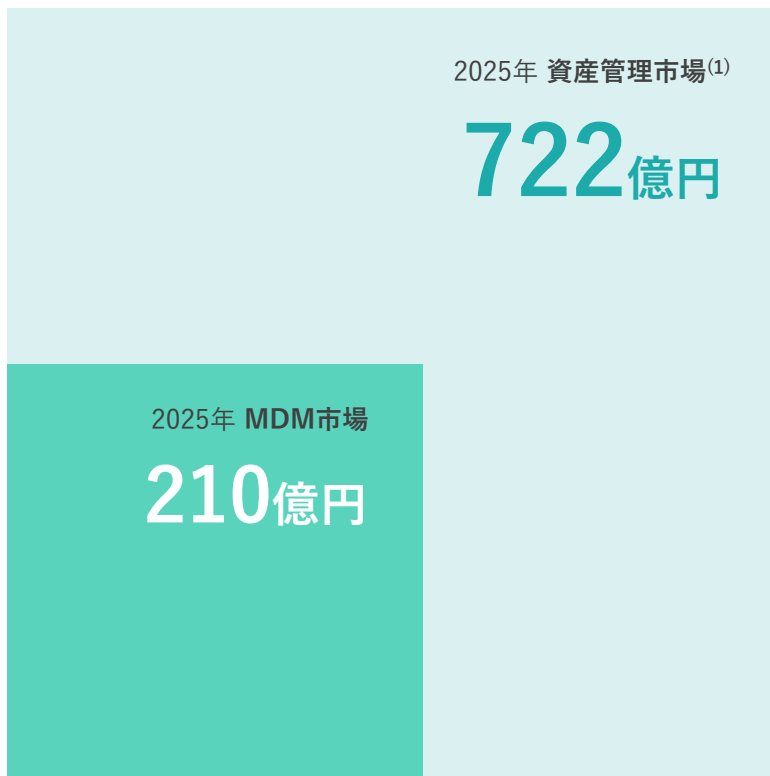
注：

1.携帯キャリア各社が第3世代移動通信方式(3G)のサービス提供を順次終了する予定となっております。当社の主要な販売パートナーであるNTTドコモグループは、第3世代移動通信方式の「FOMA」及び携帯電話からインターネットやメールを利用できるサービス「iモード」の提供を2026年3月に終了予定です。

# CLOMO事業がターゲットとする市場

主軸となるMDM市場の市場規模は210億円

ターゲットとする市場規模は全体で722億円と、CLOMO事業は大きなポテンシャルを持つ



## 市場の成長要因

- 3G停波に向けて、法人のスマートフォンへの切り替えが加速することで、スマートフォンへのMDM導入の機会が増加
- DX化によって医療や製造・運送業の現場におけるモバイル端末の導入が進み、業務用タブレットや業務専用端末など、MDMの管理対象端末が拡大
- PC資産管理／セキュリティソフトウェアはSaaS化が加速し、さらにPCとモバイル端末の統一管理のニーズ増加に伴い、MDMベンダーのPC資産管理市場への参入機会が見込まれる

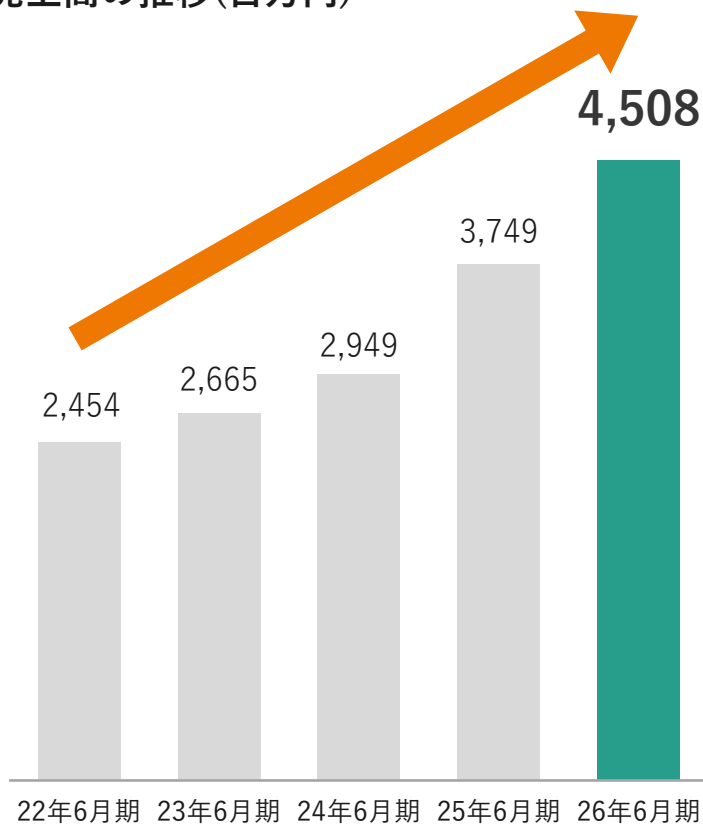
注：

1. MDM市場の2025年市場規模予想額及びPC資産管理市場の2025年市場規模予想額を合算した金額です。各市場の市場規模についての詳細は、次頁以降をご参照ください。

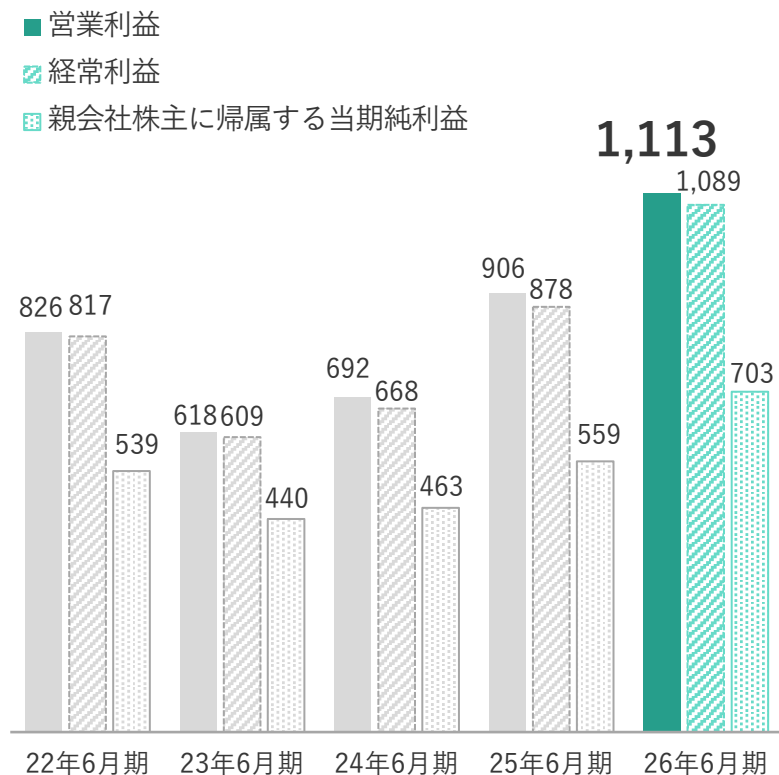
# 2026年6月期 連結業績見通し

売上高は4,508百万円（前期比 +20.2%）、営業利益は1,113百万円（前期比 +23.0%）

## 売上高の推移(百万円)



## 利益の推移(百万円)



# 株主還元

株主様への感謝を表すとともに、流動性及び認知度の向上のため、年2回の株主優待制度を導入  
2026年12月に配当予想を修正（増配）し、中間配当18円、期末配当18円（年間配当は36円）を予定

## 株主優待制度の概要

毎年6月末日、12月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株以上保有されている株主様を対象として実施します。  
なお、継続保有条件はございません。

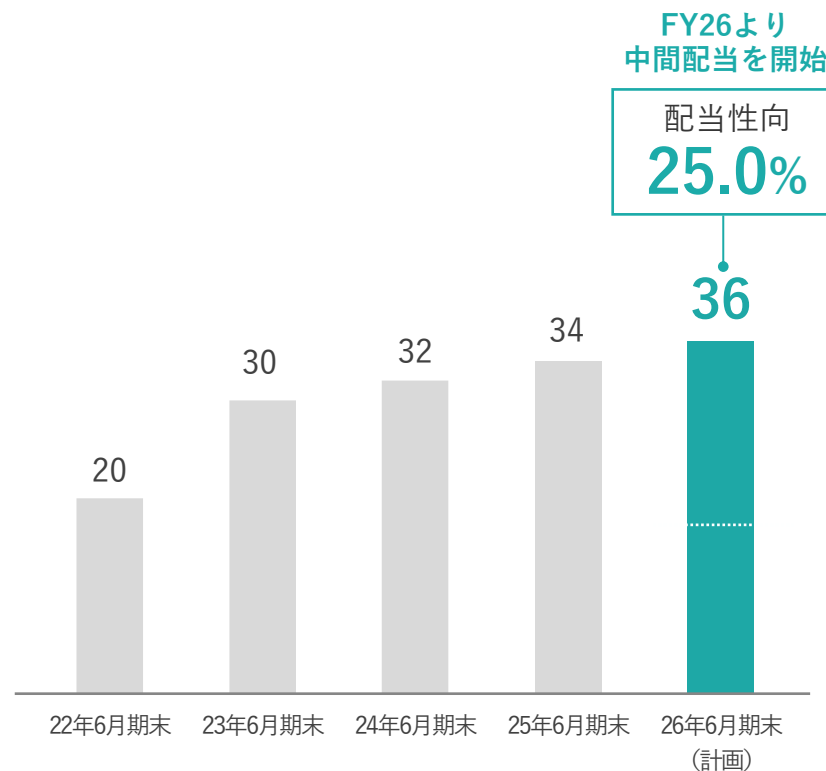
保有株式数	優待内容	実施時期
100株以上 300株未満	デジタルギフト 1,000円分	中間・期末 の年2回
300株以上	デジタルギフト 5,000円分	

対象となる主な交換先は次の通りです。

Amazon ギフトカード / QUOカードPay / PayPayポイント / dポイント /  
au PAY ギフトカード / Pontaポイント コード / nanacoギフト / Apple  
Gift Card / EdyギフトID / Google Play ギフトコード / Uber ギフトカー  
ド / 楽天ポイントギフトカード / 他、複数

※交換先につきましては、今後変更の可能性がございます  
※一部ギフトは交換レートが異なります

## 配当金の推移（円）



# 参考資料

# 1. 会社概要及び事業概要

# コーポレートブランド

ブランドスローガン

## 挑戦を、楽しもう。

私たち自身が挑戦を楽しみ、人々や組織の挑戦を助け、  
そしてもっといい笑顔を増やすために、様々なアイデアを実現していきます。

ブランドコンセプト

パーパス：笑顔につながる、まだ見ぬアイデア実現の母体となる  
提供価値：デザインとエンジニアリングの力で、挑戦を支える

# 多様かつ柔軟な組織

多様性のある組織づくりと柔軟な働き方の実現を通じて、積極的に挑戦に取り組む文化を醸成  
6年連続で「働きがいのある会社<sup>(1)</sup>」へ認定、4年連続で「ストレスフリーカンパニー<sup>(2)</sup>」を受賞

## 多様性のある組織と柔軟な働き方<sup>(3)</sup>

男女比

6:4

外国籍の社員比率

10%

育休取得率

91.3%

平均時間外労働時間

4.2時間

## 評価機関からの認定

「働きがいのある会社」  
6年連続で認定



「ストレスフリーカンパニー」  
4年連続で受賞



注：

1. Great Place to Work® Institute Japanが世界共通の基準で行う従業員の意識調査の結果をもとに、一定水準以上の企業を「働きがいのある会社」として認定する制度です。
2. 株式会社 HR データラボが、厚生労働省の定めた「職業性ストレス簡易調査票」を利用したストレスチェックの結果をもとにストレスフリーな企業を表彰する制度です。
3. 各種指標は、育休取得率を除き親会社単体の2025年6月末時点（及び2025年6月期通期）の実績であり、小数点以下を四捨五入しています。育休取得率は、記録を開始した2021年2月から2025年6月末時点までの親会社単体の累計実績率です。なお、2025年6月末時点における連結従業員数は197名、うち外国籍の社員比率は約23.4%です。

# 当社グループの事業構成

当社グループはCLOMO事業を主軸に事業を展開

投資事業はCLOMO事業のさらなる拡大及びグループ全体の成長加速に向け2022年6月期より開始

## CLOMO事業



当社グループの収益基盤となる主軸事業であり、  
企業で利用するモバイル端末の管理を支援する  
「CLOMO MDM」を中心としたサービスを提供

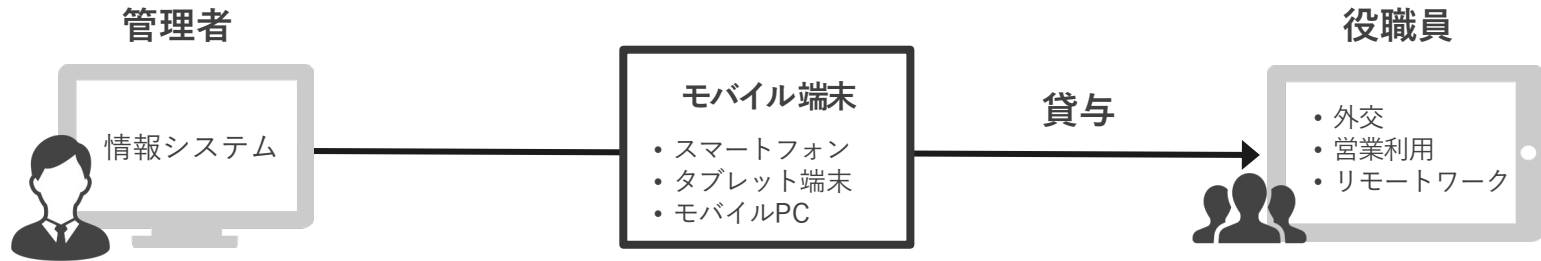
## 投資事業



CLOMO事業の事業機会の獲得も目的としたCVC  
などの投資活動と、CLOMO事業のさらなる拡大  
と、新事業の創出に向けたM&Aを実行

# CLOMO事業の概要（サービス内容）

モバイル端末のビジネス利用におけるセキュリティリスクを軽減するためのMDMサービス及びモバイル端末のさらなる活用を実現するアプリケーションサービスを提供



	利用状態の可視化 「状態の監視」	機能制限と設定 「利用ルールの適用」	セキュリティ対策 「情報漏洩対策」
<b>管理</b> スムーズな管理のための基本機能	 利用状況を遠隔でリアルタイムに把握	機能を適切に設定・制限	盗難・紛失時に端末ロック・データ消去の実施
<b>活用</b> MDMと合わせ安全性と利便性を両立	 利用状況の効率的な把握 <b>【ブラウザ／メーラー／カレンダー／アドレス帳／ファイル共有】</b>	業務ソフトウェアの効率的な活用	セキュリティ要件を満たしたアプリの提供

# 豊富なオプションサービス

オプションサービスの拡充施策の推進により、顧客ニーズに沿ったサービスラインナップを実現  
セキュリティ対策・機能追加に加え、情報システム部門の人的リソース不足を補う運用支援も提供

## セキュリティ対策

**Trend Vision  
One Mobile  
Security**



モバイル脅威を多層的に防御するとともに、対処すべきリスクを可視化

**secured by  
Cybertrust**



デバイス向けの電子証明書で強固な端末認証を手軽に実現

**secured by  
TRUST DELETE**



Windows PCの紛失・盗難時に遠隔でのロック・データ消去を実現

**Harmony  
Mobile**



様々なサイバー攻撃から包括的にモバイル端末を保護

## 機能追加

**MOBILE APP  
PORTAL**



デバイスへのアプリ配信、社内アプリポータル構築

**HOME**



用途ごとに必要なアプリのみを表示したホーム画面の作成

**Team Viewer  
Remote**



遠隔地にあるデバイスへのリモートアクセスツール

## 運用支援

**オンボーディング  
サービス**



初期設定から運用開始までを一貫して支援

**キッティング  
サービス**



MDMのプロがキッティング作業を代行

**サポートチケット**



管理者の負担を軽減しスムーズな導入・運用をサポート

**運用代行**




MDMのプロが運用を代行

**リモートオペレーション  
サービス**



24時間365日紛失時の対応

# 導入事例（エフコープ生活共同組合様）

 FCOOP エフコープ生活共同組合

## 配達現場の効率化から全社展開へ、 エフコープ生活共同組合のモバイル 活用

約2,000台のモバイル端末の安定運用を支えるCLOMO



### POINT 1

配達業務の「紙運用」を廃止し、  
業務効率が飛躍的に向上

iPhoneと自社アプリを活用し、配達ルート管理  
や完了記録をデジタル化。配達準備時間を大幅  
に削減し、事業規模の大きな配達業務の効率化  
を実現。

### POINT 2

CLOMOとIntune連携による二重  
の防御層を構築し、セキュリティ  
を担保

CLOMO MDMとMicrosoft Intuneの「条件付  
きアクセス」を連携。正規の端末・ユーザーの  
みにMicrosoft 365へのアクセスを許可し、情報  
漏洩を防ぐ強固なセキュリティ基盤を確立。

### POINT 3

組織ごとに最適化したアプリ管理  
で、運用負荷を大幅に軽減

アプリの配布・制限を組織ごとに設定すること  
で、各自が必要なアプリをインストールできる  
柔軟な運用へ移行。個別対応の負荷を削減し、  
モバイル端末の管理効率を向上させた。

# 導入事例（神奈川県横須賀市様）

## 神奈川県横須賀市

### 深夜のモバイル端末紛失時も、即座に対応するサービスで安心感

モバイル端末の一元管理 神奈川県横須賀市の取り組み



#### POINT 1

#### 深夜・休日でも即時対応可能な紛失対策で安心感を強化

24時間365日の緊急窓口により、深夜の紛失時でも即座に端末のロックや初期化が可能となり、情報漏えいリスクを大幅に低減し、職員の安心感を強化。

#### POINT 2

#### マルチOS対応の一元管理で管理者の負担を軽減

Windows/Android/iOSなど異なるOSの全端末を単一画面で一元管理。遠隔での設定変更やアプリインストールを可能にし、管理者の管理業務負担を軽減。

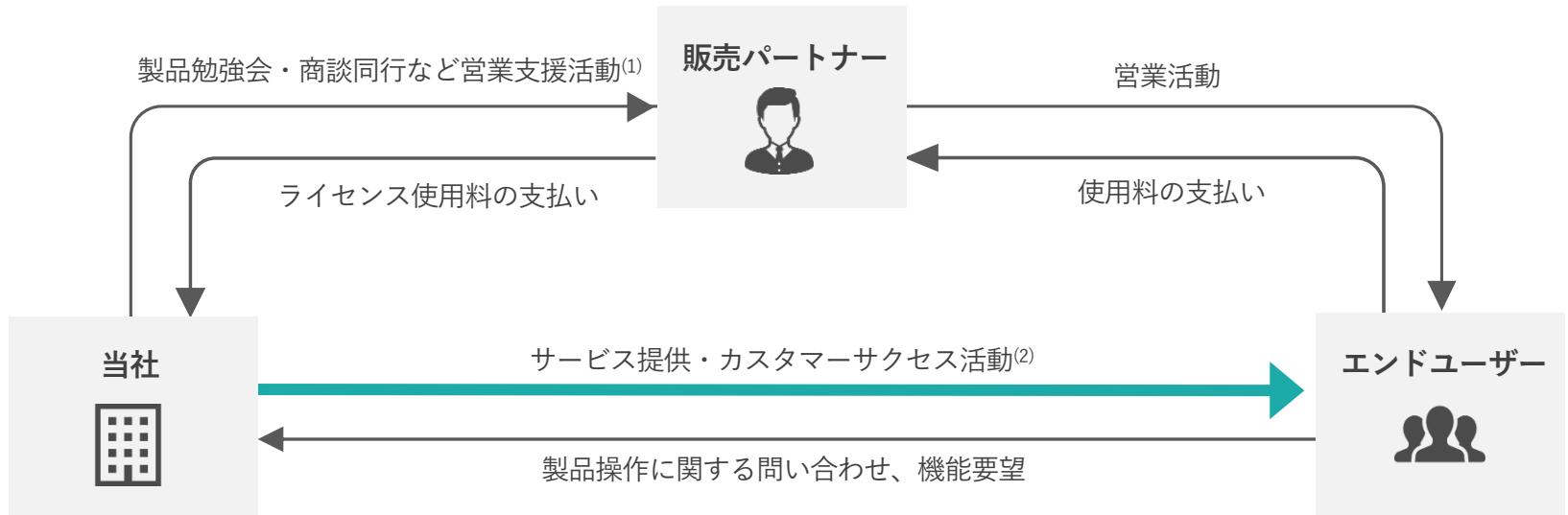
#### POINT 3

#### 緊急時に迅速なアプリ配布を実現し業務効率化に貢献

現場のニーズに応じて、管理画面から必要なアプリを即座に遠隔配信。能登地震支援時のように、出先での業務効率化と迅速な業務改善に大きく貢献。

# 販売体制

販売パートナーと連携したサービス展開を基本とする一方で、導入顧客に対しては豊富な製品知識を有するカスタマーサクセス部門が、ダイレクトにサポート



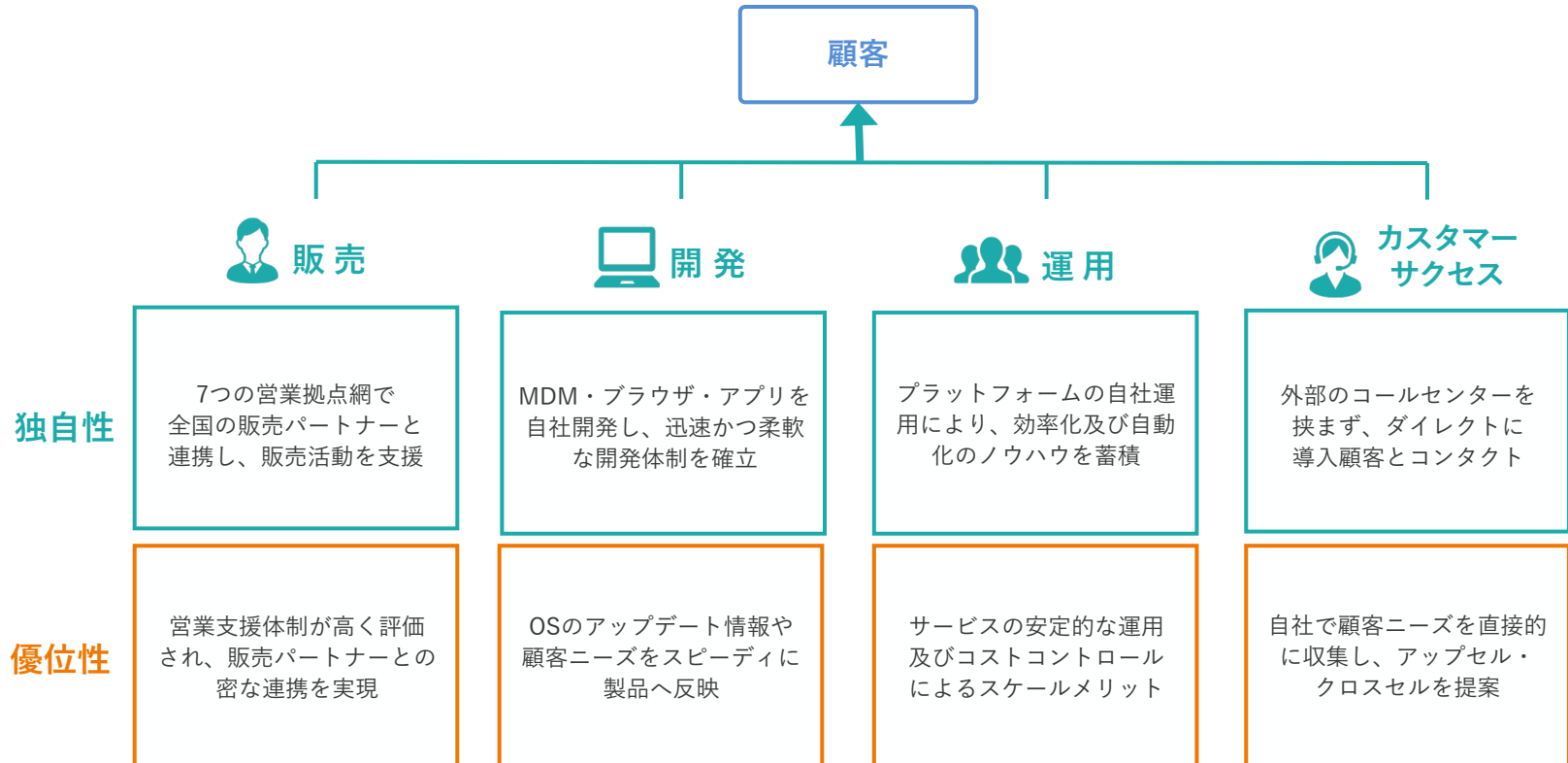
注：

- 1. 販売パートナーに対する営業支援活動のほか、潜在顧客に対しては導入事例記事広告やセミナー・イベント出展などを中心としたマーケティング活動を行っています。
- 2. カスタマーサクセス活動として、顧客からの問い合わせに対するサポート対応や定期的な顧客面談、製品操作に関するセミナーやユーザーミーティングの開催、アップセルやクロスセルの提案を行っています。

# 統合力

販売・開発・運用・サポートをすべて自社で行う統合力により、顧客満足度の高いサービスを実現

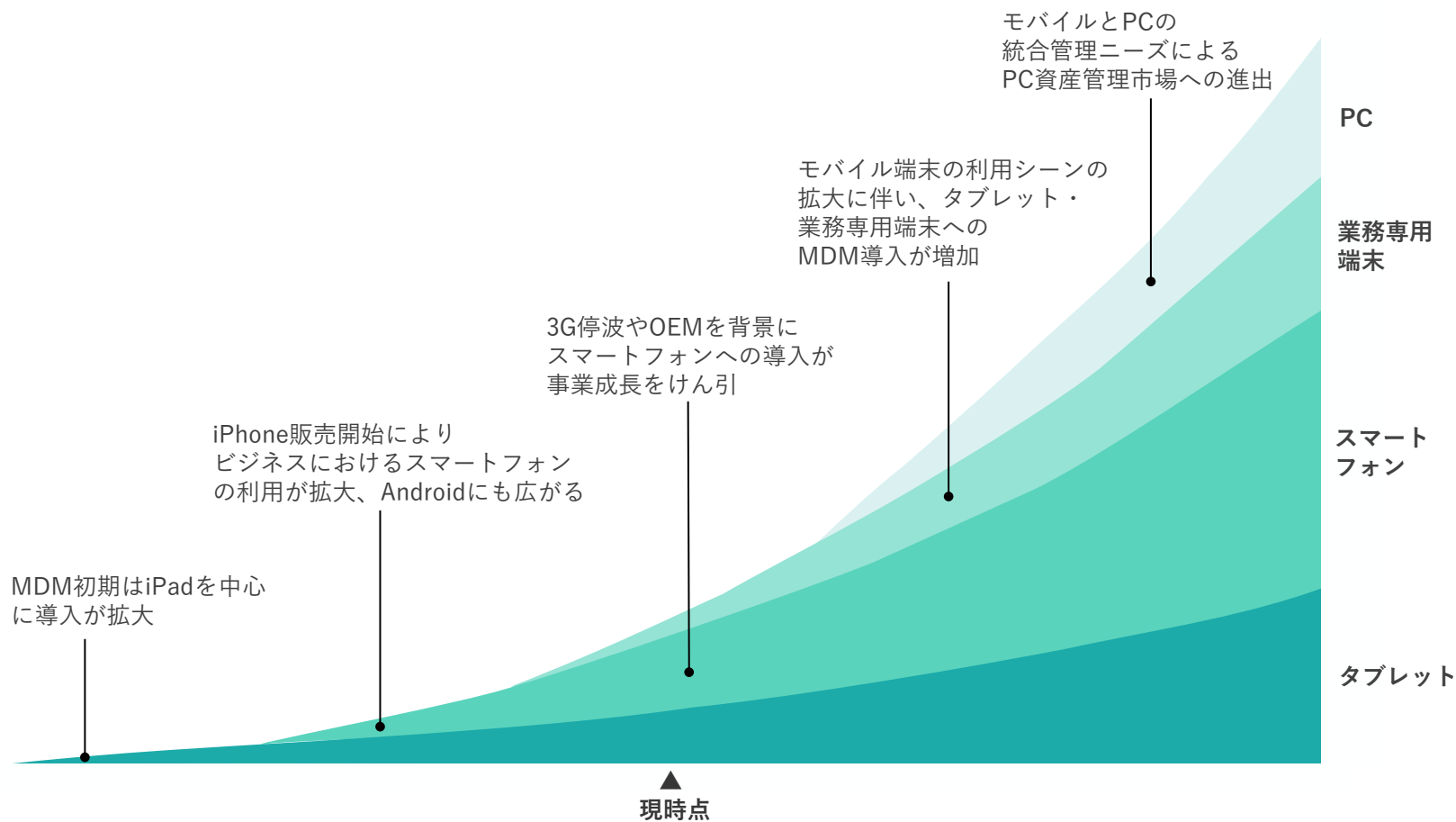
**統合力** 顧客によりそい、満足度の高いサービスの提供が可能



## 2. 2026年6月期 第2四半期 事業ハイライト

# CLOMO事業の売上成長イメージ

スマートフォンのビジネス利用拡大に伴い、当社事業はこれまで堅調に拡大  
新たな管理対象端末へ市場が広がることでさらなる事業成長を見込む



# CLOMO事業 進捗サマリー

NTTドコモグループ様へのOEM提供を通じた顧客基盤の拡大が継続

Windows PC向け機能追加やオプションサービス拡充など、PC資産管理市場進出に向けた施策を推進

FY26 成長戦略	FY26 2Qまでの取り組み
<p><b>顧客基盤の拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ OEM提供を通じた顧客の獲得</li><li>・ 全国各地の営業拠点を活用した販売パートナーの開拓</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2026年3月の旧サービス提供終了<sup>(1)</sup>に向けて、OEM経由の新規顧客を獲得 第3四半期はさらに導入法人数の増加ペースの加速が見込まれる</li><li>● 300名を超える全国のパートナースタッフとのオフラインイベントを開催し、CLOMOやオプションサービスに関する製品知識の向上を支援</li></ul>
<p><b>ARPUの向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ オプションサービスのさらなる拡充</li><li>・ クロスセル提案の強化、及び顧客ニーズに応える販売戦略の実行</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新たに2つのオプションサービスを提供開始<ul style="list-style-type: none"><li>① CLOMO アドバンスドワイプ secured by TRUST DELETE 連結子会社のワンビ社と連携したWindows PC向け情報漏洩対策サービス</li><li>② Trend Vision One Mobile Security トレンドマイクロ社が開発するモバイル端末向けセキュリティサービス</li></ul></li></ul>
<p><b>サービス価値の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ Windows PC向け機能の拡充</li><li>・ 他社製品等との連携機能の開発やOSパートナーとの連携強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● Windows PC向けの機能拡充として、CLOMOにWindows アプリ配布機能を新たに搭載</li><li>● ワンビ社との連携を深め、CLOMOの技術基盤やプラットフォーム上で同社製品を提供するための基盤構築が完了</li></ul>

注：

1. NTTドコモグループが提供するMDMサービス（以下、旧サービス）のリニューアルに伴い、「あんしんマネージャーNEXT」へ、当社がOEM提供を開始しており、旧サービスからの契約移行が進んでおります。なお、NTTドコモグループ様では旧サービスの提供終了を2026年3月に予定しております。

# ARPU向上を目指したオプションサービスの拡充 ①

ワンビ社との協業により、75万台以上への導入実績を有するWindows PC向けサービスを提供開始  
CLOMOの9,000社を超える既存顧客を活用したクロスセル展開により、PC領域での売上成長を図る

## Windows PC向け 情報漏洩対策サービス



### CLOMO アドバンスドワイプ secured by TRUST DELETE

#### ● 強固なデータ消去技術



総務省のガイドライン<sup>(1)</sup>に準拠したデータ消去機能により、復元困難な消去が可能。盗難・紛失時のみならず、廃棄・リース返却時にも情報資産の漏洩を防止

#### ● オフライン状態でも確実に情報資産を保護



紛失・盗難にあったPCがオフラインの状態でも、タイマーによって遠隔でロックやローカルワイプを実行することが可能

注：

1. 地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインに準拠しております。

# ARPU向上を目指したオプションサービスの拡充 ②

サイバー攻撃の高度化・多様化が進む中、モバイル端末の保護に対する顧客ニーズ拡大に応えるべく  
トレンドマイクロ社との協業により、多層防御を備えたセキュリティオプションを提供開始

## モバイル端末向け セキュリティサービス



### Trend Vision One Mobile Security

#### ● モバイル脅威を多層的に防御



ネットワーク・アプリ・デバイスの3点防御で、外部攻撃をブロック。ウェブサイト、マルウェア、中間者攻撃、不正Wi-Fiなど多様な通信上の脅威から保護

#### ● リスクの可視化



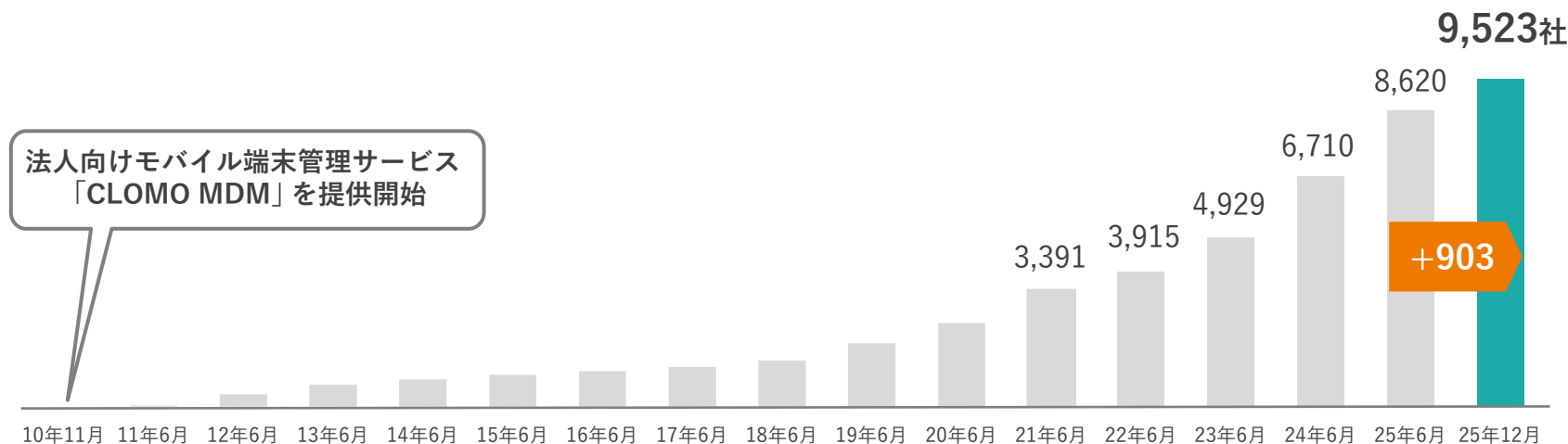
利用状況や設定状態、クラウドアプリの使用状況を評価・収集し、リスクレベルをリアルタイムで数値化。管理者が早急に対応すべき優先順位を明確化

### 3. 2026年6月期 第2四半期 KPI・業績報告

# 導入法人数・継続率・ARPU

OEM提供を通じて新規顧客の獲得が進み、導入法人数は前四半期並みの増加ペースが継続  
2026年3月の旧サービス提供終了<sup>(1)</sup>を直前に控え、下期は導入法人数がさらに大きく増加する見通し

## 導入法人数・継続率<sup>(2)</sup>・ARPU<sup>(3)</sup>の推移



法人向けモバイル端末管理サービス「CLOMO MDM」を提供開始

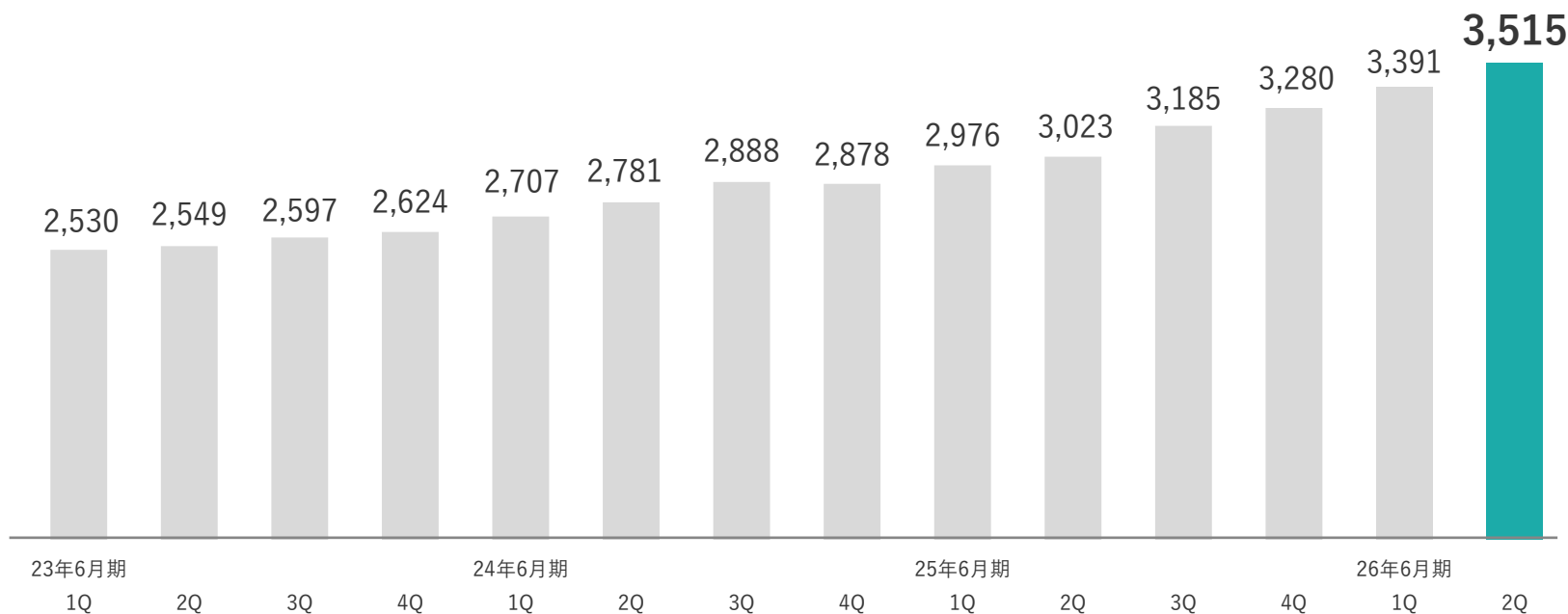
- 注：
1. NTTドコモグループが提供するMDMサービス（以下、旧サービス）のリニューアルに伴い、「あんしんマネージャーNEXT」へ、当社がOEM提供を開始しており、旧サービスからの契約移行が進んでおります。なお、NTTドコモグループ様では旧サービスの提供終了を2026年3月に予定しております。
  2. Average Revenue Per Userの略称。導入法人数当たりの平均月間単価。各月時点におけるARRの1/12を、当月末時点の導入法人数で除して算出。
  3. 継続率は、前年同月末ライセンス数から直近12ヶ月の解約数を差し引き、前年同月末ライセンス数で除したもので算出。

# ARR

ARR<sup>(1)</sup>は、導入法人数の増加に加えて、OEM経由で中～大規模案件の獲得が進んだこと、CLOMOの既存顧客においてアップセル・クロスセルが進んだことで安定的に成長し、前年同期比 +16.3%

## 各四半期末時点のARR推移

(百万円)



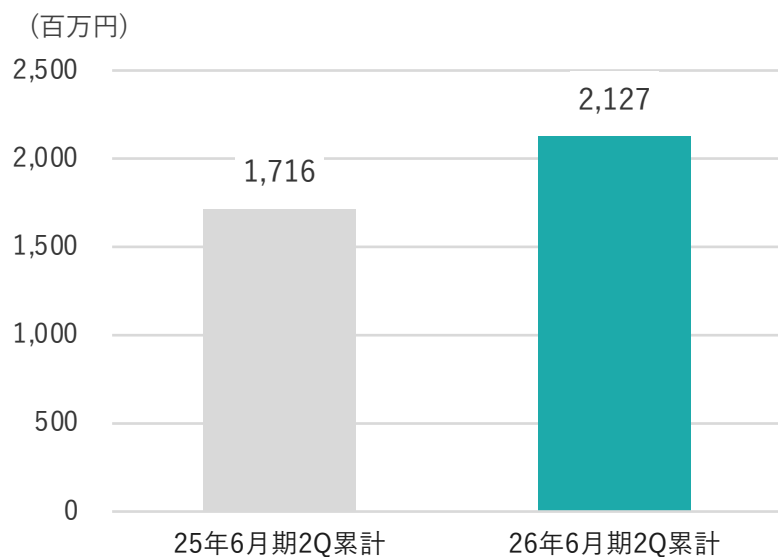
注：  
1. Annual Recurring Revenue の略称。各月のMRR (対象月の月末時点の導入法人に係る月額料金の合計額であり、一時費用を除く)を12倍して算出。

# 2026年6月期 第2四半期累計 連結売上高・営業利益

通期連結業績予想に対する進捗率は概ね計画通り（売上高 47.2%、営業利益 61.5%）

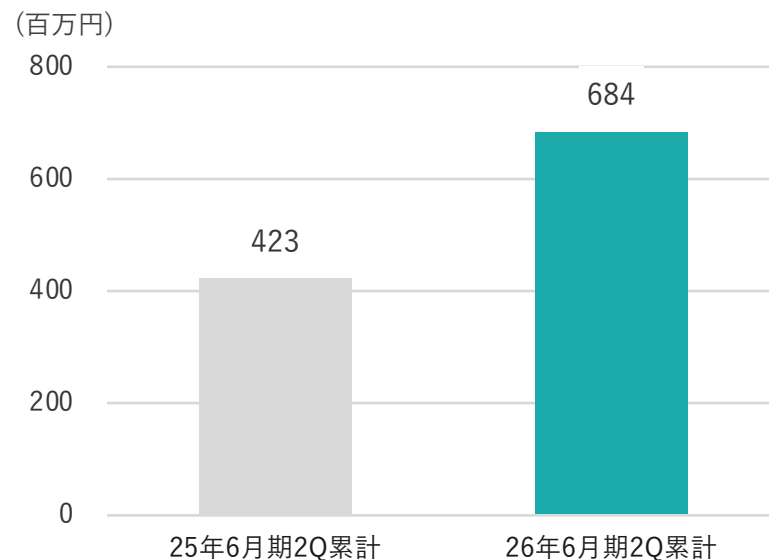
ただし、期末偏重の事業投資計画により、下期の営業利益は第2四半期比でやや減益となる計画

## 売上高



25年6月期2Q累計	26年6月期2Q累計	前年同期比
1,716百万円	2,127百万円	+24.0% (+411百万円)

## 営業利益



25年6月期2Q累計	26年6月期2Q累計	前年同期比
423百万円	684百万円	+61.5% (+260百万円)

# 2026年6月期 第2四半期累計 連結損益計算書

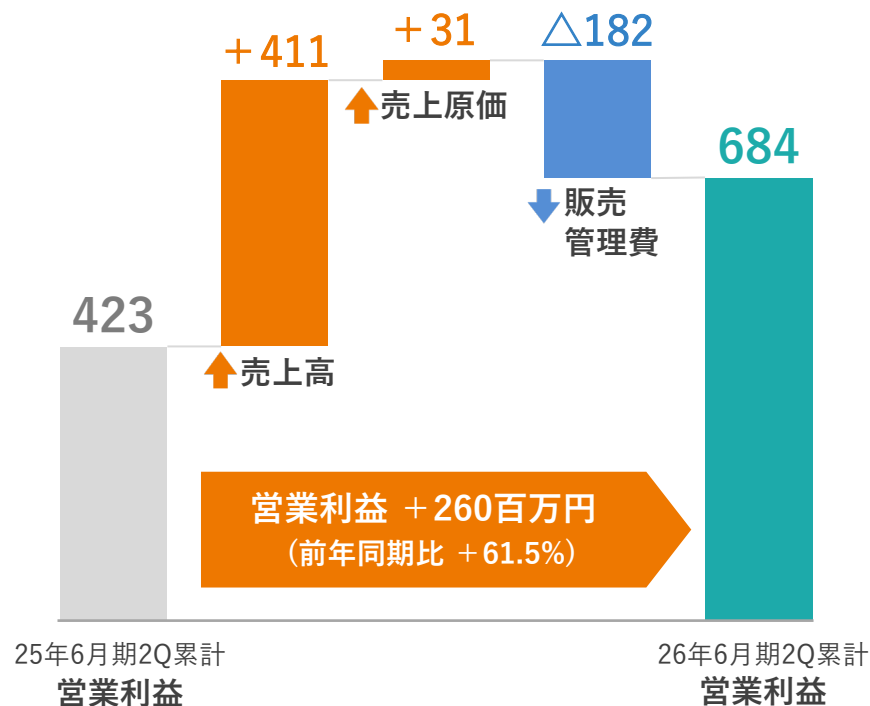
のれん償却費等の費用増加があった一方、売上原価の減少に伴い、営業利益率は前年同期比 +7.5pt  
 人員増強や広告宣伝等の事業投資を下期に見込んでおり、費用は下期偏重となる見通し

(単位：百万円)	25年6月期2Q累計 (構成比)	26年6月期2Q累計 (構成比)	増減額 (増減率)
売上高	1,716 (100.0%)	2,127 (100.0%)	+411 (+24.0%)
売上原価	493 (28.7%)	461 (21.7%)	△31 (△6.4%)
減価償却費	151 (8.8%)	102 (4.8%)	△48 (△32.2%)
製造経費	169 (9.9%)	178 (8.4%)	+9 (+5.4%)
その他	172 (10.0%)	180 (8.5%)	+7 (+4.6%)
売上総利益	1,223 (71.3%)	1,666 (78.3%)	+443 (+36.2%)
販売費及び一般管理費	799 (46.6%)	981 (46.1%)	+182 (+22.8%)
人件費等	492 (28.7%)	590 (27.7%)	+97 (+19.9%)
その他	307 (17.9%)	391 (18.4%)	+84 (+27.5%)
営業利益	423 (24.7%)	684 (32.2%)	+260 (+61.5%)
経常利益	422 (24.6%)	688 (32.3%)	+266 (+63.0%)
親会社株主に帰属する中間純利益	280 (16.3%)	432 (20.3%)	+152 (+54.2%)

# 連結営業利益の増減要因

人件費やのれん償却費を中心に費用が増加した一方、CLOMO事業の売上成長により業績が拡大  
営業利益は前年同期比 +61.5%の成長

(百万円)



## ↑ 売上高の増加 (+411)

- ・ OEM経由の顧客獲得及び子会社業績の連結によるCLOMO事業の拡大
- ・ 投資事業は前年同期比で減少（前年同期は120百万円）

## ↑ 売上原価の減少 (+31)

- ・ ソフトウェアのリリースタイミングの影響で減価償却費が減少
- ・ 投資事業は前年同期比で減少（前年同期は99百万円）

## ↓ 販売費及び一般管理費の増加 (△182)

- ・ M&Aや積極的な採用活動による従業員の増加を背景に、人件費が増加
- ・ 子会社の増加に伴い、のれん償却費が増加

# 2026年6月期 第2四半期 連結貸借対照表

成長投資や株主還元を進めながらも安定した財務基盤を維持し、自己資本比率は60.8%

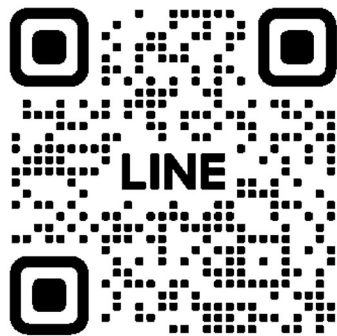
(単位：百万円)	25年6月期	26年6月期2Q	増減
<b>流動資産</b>	<b>2,982</b>	<b>3,222</b>	<b>+240</b>
現金及び預金	2,225	2,448	+222
売掛金	418	448	+30
営業投資有価証券	216	216	+0
<b>固定資産</b>	<b>1,456</b>	<b>1,423</b>	<b>△32</b>
ソフトウェア	182	129	△52
ソフトウェア仮勘定	72	153	+80
<b>資産合計</b>	<b>4,438</b>	<b>4,646</b>	<b>+208</b>
<b>流動負債</b>	<b>1,487</b>	<b>1,412</b>	<b>△74</b>
契約負債	825	737	△88
<b>固定負債</b>	<b>90</b>	<b>83</b>	<b>△6</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,577</b>	<b>1,496</b>	<b>△81</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,860</b>	<b>3,150</b>	<b>+289</b>

# IRニュースレターのご案内

---

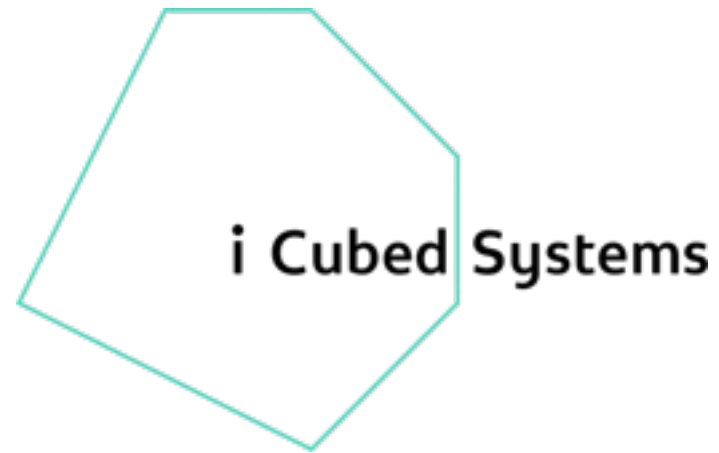
最新のニュースリリースやIRイベントのご案内など、当社IRに関する情報について、お知らせするサービスを行っております。以下のQRコードを読み取り、ぜひご登録ください。

LINEで受け取りたい方はこちら



メールで受け取りたい方はこちら





# 本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行なっております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。